

## 令和 7 年度 地域連携推進会議事録

日時：令和 7 年 1 2 月 2 2 日（月）

11：00～12：00

場所：伏野つばさ園 会議室

出席者

【利用者】 1 名

【利用者の家族】 1 名

【地域の関係者】 1 名

【伏野つばさ園】職員 4 名

### 議題

1. 開会挨拶（利用者の状況含）
2. 支援・サービス提供状況（報告）
3. 施設の運営（収支等）状況（報告）
4. 施設見学
5. 運営等に対する推進員の要望、助言等

### ■議題 1: 開会挨拶

- ・ 園長より挨拶

地域連携推進会議の目的説明

- ・ 利用者と地域との関係づくり
- ・ 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- ・ 施設等やサービスの透明性・質の確保
- ・ 利用者の権利擁護
- ・ 令和 7 年度から障害者施設でも開催が必須となった
- ・ 年 1 回の施設見学を実施予定

伏野つばさ園の概要

- ・ 開設 4 年目
- ・ 白兔はまなす園とあさひ園が統合して誕生
- ・ 提供サービス：入所支援、生活介護、就労継続支援 B 型、短期入所
- ・ 利用者数
  - ・ 入所：定員 40 名（現在 40 名）
  - ・ 通所（B 型と生活介護）：128 名
- ・ 平均年齢：入所 62 歳、通所 48 歳
- ・ 職員数：パート含 55 名（厚生事業団発令 36 名、園長発令 19 名）

事業内容（B 型）

- ・ 園外班：環境事業部校舎の清掃業務、除草作業

- ・ 自主製造班：パン工房、菓子、喫茶店の営業

#### 立地に関する課題

- ・ 以前の白兎はまなす園と比べ、地域との繋がりが薄い
- ・ 地域との繋がりを作る努力が必要

### ■議題 2: 支援・サービス提供状況

#### 利用者状況

- ・ 入所利用者
  - ・ 総数：40 名（男性 28 名、女性 12 名）
  - ・ 1 階：10 名（主に身体障害のある方）
  - ・ 2 階：30 名（主に知的障害のある方、男性 18 名、女性 12 名）
- ・ 通所利用者
  - ・ 総数：91 名（男性 61 名、女性 30 名）
  - ・ 生活介護：定員 40 名
  - ・ 就労継続支援 B 型：定員 100 名

#### サービス提供内容

- ・ 日中活動
  - ・ 施設内での生活介護、就労継続支援 B 型の利用
  - ・ 外部サービスの利用（一部利用者は生活介護、就労継続支援 B 型など）
- ・ 休日の支援
  - ・ 地域スーパーへの買い物支援
  - ・ とくし丸（移動販売）の利用
  - ・ 自主的な外出（タクシー利用など）
- ・ 地域交流
  - ・ 自主製造班での地域の子どもたちとの交流（パン作り体験など）
- ・ 個別支援計画
  - ・ 6 ヶ月ごとの見直し
  - ・ 権利擁護や意思決定支援の視点を重視
  - ・ 地域移行、同性介助、就労希望などの聞き取り
- ・ 給食サービス向上委員会
  - ・ 2 ヶ月に 1 回開催
  - ・ 利用者の希望を反映した給食提供
- ・ 満足度調査
  - ・ 年 1 回実施
  - ・ 利用者・保護者向けアンケートの実施予定

### ■議題 3: 施設の運営について

#### サービス稼働率

- 入所支援：97～98%
- 就労継続支援 B 型：約 80%
- 生活介護：約 70～80%

#### 財務状況

- 収入
  - 就労支援：約 3,600 万円-3,700 万円
  - 支援費：2 億 6,700 万円
- 支出
  - 総支出（人件費含む）：3 億 1500 万円
- 現状：赤字経営（主に人件費比率が高いため）

#### 利用者への工賃

- 目標：1 人当たり月額 1 万 5,000 円
- 就労支援収入から経費・人件費を差し引いた分を利用者に支払い

#### ■議題 4: 施設見学

- 会議後、施設内の見学を実施

#### ■議題 5: 推進委員会の要望助言等

#### 提案内容

1. 地域との連携について
2. 施設の環境と利用者への配慮
3. パン工房の運営と PR
4. イベントと交流の機会
5. 地域社会の変化と課題

#### 提案 1: 地域との連携について

- 現状の課題
  - 施設の立地が地域から離れているため、地域との連携が難しい
  - パン工房の商品を買いに来る人もはまなす園ほど多くない
  - 保護者の方々との活動が難しくなっている
- 今後の検討事項
  - 利用者の親や兄弟とのつながりをどのように維持するか
  - 地域との連携方法を再考する必要がある

#### 提案 2: 施設の環境と利用者への配慮

- 施設の特徴
  - 広々とした環境で、管理は大変だが利用者にとっては快適
  - 歩く距離は長い、広々とした空間が確保されている
- 利用者への配慮
  - それぞれの症状に応じた仕事を選べる環境が整っている

- 細やかな配慮がなされている点が評価されている

### 提案 3: パン工房の運営と PR

- 現状
  - パン工房の商品は大体安定して売れている
  - 残る商品はあまりない
- PR の提案
  - 公民館や社協の集まりでの PR 活動
  - 公民館などに注文受付の様子を置いての宣伝
  - イベント用の注文受付を事前に行う
- 注意点
  - 急な大量注文は対応が難しいため、事前連絡が必要
  - 製造量を増やす際は慎重に検討する

### 提案 4: イベントと交流の機会

- 過去の活動
  - 運動会、夏祭り、クリスマス会などを開催し、地域の方が参加していた
  - 保護者会での交流イベントがあった
- 現状の課題
  - 利用者の高齢化により、運動会などの開催が難しくなっている
  - コロナの影響もあり、施設外の方を招いての開催は中止されている
- 今後の検討事項
  - 地域との交流機会を新たに考える必要がある
  - 利用者の状況に合わせたイベントの検討

### 提案 5: 地域社会の変化と課題

- 地域の現状
  - 地域のお世話をする人々の高齢化が進んでいる
  - 定年延長により、地域活動に参加できる人が減少している
- 今後の課題
  - 高齢者が高齢者をケアする状況が増えている
  - 70 歳を超えても仕事を続ける人が増加している
- 今後の方針
  - 地域との連携を継続的に模索していく
  - 新たな交流の機会を検討する

### ■その他

- 今回の会議で出た意見を参考に、今後の運営を進めていく
- 施設長からの謝辞があり、引き続きの協力を要請